

目次

『急性腹症診療ガイドライン』発刊にあたって / iii

『急性腹症診療ガイドライン 2015』作成にあたって / v

第Ⅰ章	クリニカルクエスチョン一覧	1
第Ⅱ章	ガイドライン作成方法	7
	1 本ガイドラインの目的, 利用者, 対象者	8
	2 本ガイドラインを使用する場合の注意事項	8
	3 ガイドラインの作成法	8
	4 ガイドライン作成ならびに評価に関する委員, 公聴会, パブリックコメント	8
	1) ガイドライン作成団体	8
	2) ガイドライン作成委員会	9
	3) ガイドライン評価委員会	9
	4) 公聴会, パブリックコメント	9
	5 文献検索法, エビデンスレベル, 推奨の強さ	10
	1) 文献検索法	10
	2) 文献のエビデンスレベルの分類法	10
	3) 推奨度分類	10
	6 改訂	10
	7 資金	10
	8 本ガイドライン普及推進の工夫	10
	1) 出版ならびにホームページによる閲覧	10
	2) 患者・家族向けの解説	12
	9 利益相反	12
第Ⅲ章	急性腹症の定義(CQ1)	15
第Ⅳ章	急性腹症の疫学(CQ2-15)	19
第Ⅴ章	急性腹症のアルゴリズム, 腹痛部位と疾患	33
第Ⅵ章	急性腹症の病歴聴取(CQ16-31)	39
第Ⅶ章	急性腹症の診察(CQ32-48)	57

第Ⅷ章 急性腹症の検査(CQ49-75)	79
第Ⅸ章 急性腹症の鑑別診断(CQ76-101)	121
第Ⅹ章 急性腹症の初期治療(CQ102-106)	155
第Ⅺ章 急性腹症の教育プログラム(CQ107-108)	171
索引	175

略語一覧

AAA：腹部大動脈瘤
ACS：急性冠症候群
CDC：Centers for Disease Control and Prevention
DIC：播種性血管内凝固
EP：異所性妊娠
IVP：経静脈性腎盂造影検査
KUB：腹部単純 X 線検査 (kidney, ureter, bladder)
LR：尤度比
MDCT：マルチスライス CT
NOMI：非閉塞性腸間膜虚血
NPV：陰性適中率
NSAIDs：非ステロイド性抗炎症薬
NSAP：非特異的腹痛
OR：オッズ比
PCT：プロカルシトニン
PID：骨盤内炎症性疾患
PPV：陽性適中率
RR：相対リスク
SBP：特発性細菌性腹膜炎
SLE：全身性エリテマトーデス
SMA：上腸間膜動脈
US：超音波検査

英語で obstruction と ileus は意味が異なるが、日本語訳では腸閉塞と同一表記することが多い。本ガイドラインでは、本来の意味に準じては bowel obstruction を腸閉塞(機械的閉塞による)と、ileus をイレウス(麻痺性)と表記する。CQ1 参照。